

2021 年 8 月 20 日
森ビル株式会社

森ビルとあいおいニッセイ同和損保の共催によるオンライン親子学習プログラム
『台風対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー』開催
～備蓄キットや被害予測アプリを活用し、親子で台風対策や災害時の行動について学ぶ～

森ビル株式会社(以下、森ビル)とMS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(以下、あいおいニッセイ同和損保)は、2021 年 9 月 12 日(日)に、「ヒルズ街育プロジェクト」のオンライン特別企画として、『台風対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー』を共同開催します。

本プログラムは、2021 年 3 月に実施した『震災対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー』に続く、森ビルとあいおいニッセイ同和損保によるコラボレーション企画の第 2 弾です。今回は、自然災害による被害発生状況をリアルタイムで予測することで、防災・減災に役立てられるウェブサイト「cmap(シーマップ)」を活用し、日本付近に多くの台風が接近する時期に合わせて、自宅にしながら親子で台風対策について学ぶ機会を提供します。

プログラムでは、六本木ヒルズ等を事例に、安全・安心な建物の仕組みや、街を挙げた災害対策の解説に加えて、事前に自宅に送付される「ヒミツの備蓄キット」や、「cmap」のスマートフォン／タブレット用アプリによる被害状況や避難場所の確認体験など、有事の際に役立つ、より実践的な災害対策や行動について学びます。また、クイズやチャットによる質問コーナーなど、オンラインならではの双方向コミュニケーションを積極的に取り入れることで、安全・安心な「街」や「建物」、「日々の備え」について深く、楽しく学んでいきます。



様々な備蓄品を手に取り、
「備え」の大切さを学ぶ



被害予測アプリ「cmap」を使い、
有事の際の行動を学ぶ



双方向でコミュニケーションを取りながら、
体験学習としてプログラムを進行

「ヒルズ街育プロジェクト」オンラインプログラム概要

- ツアー名 : 『台風対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー』
- 日 時 : 9 月 12 日(日) 13:00～14:10、15:00～16:10
- 対 象 : 小学校 3～6 年生のお子様とその保護者 ■ 参 加 費 : 無料
- 募集人数 : 各回 40 組(定員を超える応募があった場合は抽選とさせていただきます)
- 申込方法 : ヒルズ街育プロジェクトホームページより申込
<https://www.mori.co.jp/machiiku/tour/detail.html?tourId=online202109>
- 申込期間 : 8 月 20 日(金)11:00～9 月 2 日(木)12:00

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 福本

TEL: 03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

＜『台風対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー』の詳細＞

レクチャーとワークショップで構成される、約 70 分間のオンラインプログラム。参加者の自宅に、様々な備蓄品を詰め合わせた「ヒミツの備蓄キット」を事前に送付したり、被害予測アプリ「cmap」を活用して被害状況等を確認したりすることで、オンラインプログラムでありながら、実体験を通じた実践的かつ楽しい学びの機会をご提供します。さらに、プログラムを通じて様々なクイズを出題したり、チャットによる質問コーナーを設けたりすることで、オンラインならではの双方向コミュニケーション機能も積極的に取り入れてプログラムを進行していきます。

■レクチャー：安全・安心な「街」のヒミツを学ぼう

災害に強い街づくりについて、六本木ヒルズを例に学ぶほか、台風が発生した際に想定される被害を被害予測アプリ「cmap」を用いて、過去の災害を事例にわかりやすく解説します。自分が住んでいる街のことを想像しながら、安全・安心な街について親子で一緒に考えていきます。



「ヒミツの備蓄キット」

■ワークショップ①：安全・安心に過ごすための「備え」のヒミツを学ぼう

「cmap」で自宅周辺の避難場所を調べて災害への備えを学ぶほか、様々な備蓄品を詰め合わせた「ヒミツの備蓄キット」を使って、自宅に備えておくべき備蓄品の種類や使い方について学んでいきます。



防水版

■ワークショップ②：安全・安心な「建物」のヒミツを学ぼう

台風の接近・上陸によって起こりうる暴風被害や浸水被害などへの備えとして、防水板やアクティブマスダンパーなど、虎ノ門ヒルズ等の実際の建物における様々な工夫について学んでいきます。

ヒルズ街育プロジェクトとは

創業から約 60 年にわたり地域の皆さまとともに街づくりを推進してきた森ビルが、街づくりの豊富なノウハウを、未来を担う子どもたちに伝えるとともに、楽しく学びながら、次世代の都市のあり方を考える機会として実施している親子向けプログラムです。六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、愛宕グリーンヒルズなど、本物の“街”を“生きた教材”として活用し、森ビルが街づくりで大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマにしたプログラムを実施することで、街づくりを考えるきっかけを提供しています。

2007 年の開催以降、延べ約 15,000 名の方々にご参加いただきました。一般公募によるプログラムの実施だけでなく、近隣小学校の授業の一環として同プログラムをご活用いただくことで、地域コミュニティにおける子どもの学習機会の創出にも貢献しています。

リアルタイム被害予測ウェブサイト「cmap」とは

「cmap」とは、台風、豪雨、地震による被災建物数を予測し、無償で一般公開するサイトです。台風は上陸前から（最大 7 日先まで）、豪雨、地震による被害が発生した際は被災直後から、被災建物数、被災件数率を市区町村ごとに予測し、地図上に表示します。

24 時間 365 日、降水状況、風向、天気予報などの気象情報や、震度 3 以上の地震の発生状況を cmap 上で確認することができます。さらに、ハザードマップ表示機能（浸水想定、土砂警戒・危険）をいつでもご利用いただけます。

また、被害予測アプリ「cmap」は、災害に関する緊急情報（気象警報・避難勧告等）の通知機能を備えたスマートフォン／タブレット用アプリです。登録した郵便番号に基づいて自治体指定の緊急避難場所を地図上に表示する機能があり、外出先でも気軽に確認ができます。お住まいの地域のリスクについて日頃から把握し、防災、減災にご活用ください。

◎森ビルの取組み

森ビルは、東京・港区を拠点として都市再開発事業を行う総合ディベロッパーです。職・住・学・遊・憩などの様々な都市機能が集約されたコンパクトシティを創り、育むことで、首都・東京の磁力を高めていくことを目指しています。都市づくりの重要なテーマとして「安全・安心」を掲げ、「逃げ出す街から逃げ込める街へ」をコンセプトに、ハード・ソフト両面において、災害に強く、周辺地域の防災拠点となる街づくりを進めています。

特に、六本木ヒルズでは、建物自体を地震や台風などの災害に強くするために、法定を上回る独自の耐震基準を採用するほか、3重のバックアップにより災害時にも安定した電気供給を可能とするエネルギープラントも設置。さらに、地区内には非常時の飲用水や、トイレ洗浄水および消防用水等を確保する災害用井戸や、非常用の水や食料を10万食分備蓄する備蓄倉庫などを備えています。また、港区と「災害発生時における帰宅困難者の受入れ等に関する協力協定」を締結し、約5000人の帰宅困難者を受け入れる体制を整備し、地域の防災拠点としての役割を担っています。



超高層タワーには高度な制振装置「オイルダンパー」を356台設置



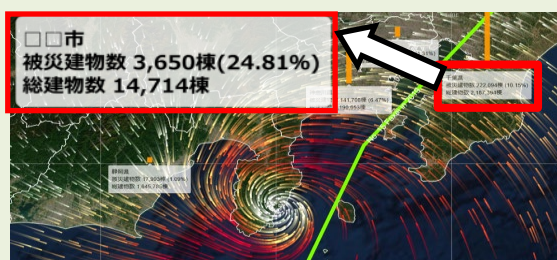
独自のエネルギープラントを備え、災害時でも安定的な電力供給が可能



非常用の水や食料を10万食分備蓄する備蓄倉庫

◎あいおいニッセイ同和損保の取組み

あいおいニッセイ同和損保は、先進性・多様性・地域密着を追求し、明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする「特色ある個性豊かな会社」を確立することを目指しています。テレマティクス自動車保険のパイオニアとして「先進性」を追求し、誰もが安全・安心に暮らせる地域・社会づくりに取り組んでいます。事故対応においては「テレマティクス損害サービスシステム」、「24時間365日事故対応サービス」、「cmap」などを開発しました。「cmap」の取組みは高く評価され、第29回地球環境大賞において「大賞」を受賞しました。



被災建物予測棟数・被災件数率の表示イメージ



ハザードマップ（浸水想定）と降水地域を重ねたイメージ